

l/d. 肝臓病

- 消化率の高い高品質の蛋白質、脂質、炭水化物を使用することで、肝臓の負担に配慮
- 正常な脂質代謝のためにL-カルニチンを配合
- 肝疾患で欠乏しやすいビタミンKと亜鉛を強化

食事管理のポイント

- 高品質の蛋白質を含むフードを与えましょう
高品質の蛋白質は、効率的に利用されるので、肝臓への負荷の軽減を助けます。
- 高消化性の炭水化物を含むフードを与えましょう
消化の良い炭水化物は、糖分の利用を高め、エネルギーを十分に与えることで肝臓の修復と再生に役立ちます。また、体に有害となるアンモニアの生成を抑えます。
- アルギニン、亜鉛を多く含むフードを与えましょう
アルギニン、亜鉛は肝臓内の代謝を助け、肝機能の改善を助ける働きがあります。
- ビタミンを多く含むフードを与えましょう
肝臓病では、ビタミンの欠乏が起こりやすくなるため、十分に与えましょう。
- L-カルニチンを多く含むフードを与えましょう
L-カルニチンはエネルギー代謝の適正化をサポートします。



ヒルズのプリSCRIPTIONダイエット
肝臓病管理用フード

l/d.

※獣医師の指示にしたがって与えてください。

l/d. 肝臓病

〈犬用〉 ドライ 1kg, 3kg, 7.5kg
缶 詰 370g



〈猫用〉 ドライ 500g, 2kg
缶 詰 156g



病院名



販売元
日本ヒルズ・コルゲート株式会社
〒135-0016 東京都江東区東陽3-7-13



販売総代理店
大日本住友製薬株式会社
〒553-0001 大阪市福島区海老江1-5-51

愛犬愛猫に関する情報 ヒルズホームページ <http://www.hills.co.jp>

※製品のデザイン・重量などは変更することがあります。

2008.06



犬と猫の 肝臓病のおはなし



肝臓病とは

肝臓病とは、病原菌への感染や中毒によって肝臓の機能が低下し、全身に障害が現れる病気です。症状としては食欲不振、抑うつ、成長不良、消化器障害、黄疸、腹水、多飲多尿、出血傾向、神経機能障害などがあり、肝臓病時には栄養的な管理が重要になります。



※定期的に獣医師の診察をお受けください。

多くの機能を持つ肝臓

肝臓は1500種類以上もの機能を持ち、消化や栄養素の代謝、毒性物質の解毒や血液の主成分の合成、ビタミンやミネラルの貯蔵など、さまざまな役割を果たしています。

肝臓は「沈黙の臓器」とも呼ばれるように、その機能に何らかの障害があってもすぐには症状に現れにくく、注意が必要です。

肝臓病の原因

- ウイルスあるいは細菌による感染
- 有害物質や薬物の摂取
- 心臓病や先天的・後天的な異常による肝臓への血流の変化
- 品種
ベドリントン・テリア、ウェスト・ハイランド・ホワイト・テリアなどの特定品種は銅を適切に排泄できない場合があり、また、シャム猫やコッカー・スパニエルは肝臓病にかかりやすい傾向があるといわれています。

とっても怖い「猫肝リビドーシス」とは？

猫は、2〜3日間食事をとらないだけで、猫肝リビドーシスと呼ばれる生命を脅かす病気になることがあります。特に肥満の猫に発生しやすい病気です。肝臓の脂肪レベルが非常に高くなり、肝臓の処理能力を超えてしまう場合に発生します。残念ながら、この原因は十分に解明されていません。

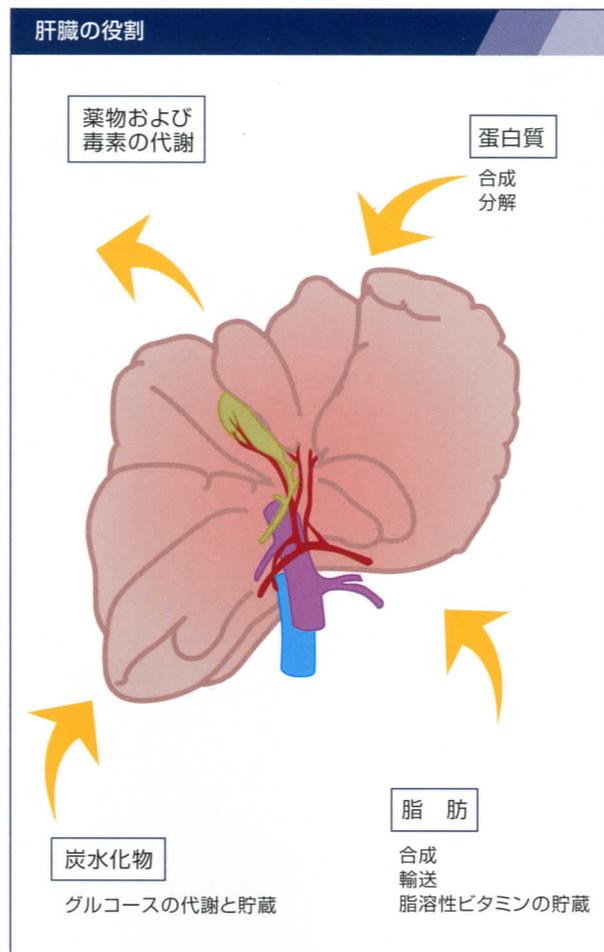
もしあなたの猫が1日でも食事をとらなかつたら…

- 無理に口から食事を与えようとしない
食べ物を「嫌なモノ」と認識してしまい、ますます食事をとりたがらなくなることがあります。
- すぐに獣医師に相談しましょう。



肝臓の働き

肝臓は、体内で最大かつ最も活発な臓器であり、ホメオスタシス（恒常性）を維持するための重要な役割を担っています。



肝臓は回復します！

肝臓は、他の臓器とは異なり、大きな予備能力を持ち、再生する能力も優れています。有害な要因が取り除かれれば、適切な栄養管理によって、回復することができます。

！ こんな症状が出たら要注意

日ごろからペットの行動をチェックして、以下のような症状がみつかったら、早めに動物病院にご相談ください。

- 食欲がなくなったり、体重が落ちてきた
- 元気がない
(力がなくなったり、普段好きなことにも興味を示さない)
- 黄疸がある
(皮膚や目の白い部分が黄色くなっている)
- 水を多量に飲む
- 色の濃い尿をしている
- おなかの周りがふくらんできた
- 歯ぐきが青白い

🏠 ホームケア

- 獣医師による注意事項を守りましょう
注意深く食事管理や投薬を行いましょう。
- 1日分の食事量を数回に少量ずつ分けて与えましょう
- 新鮮できれいな水を与えましょう
- ペットの状態をよく観察してください。もし症状がみられたらただちに獣医師に相談しましょう

